

平成 26 年 9 月 19 日

横浜市 長
林 文子 様

横浜市 栄区 庄戸 三丁目 町会
会 長 工藤 幸子
道路対策部長 岩倉 正剛

横浜市所有のフェンス損壊について（要請）

早速ながら横浜市民にとって看過できない問題が発生しており、このことをお報告して市長として貴職のご意見を伺いたくお願い致します。

東日本高速道路(株)横浜工事事務所（以下「NEXCO」という。）は住民との話し合いを一方的に打ち切り、本年 8 月 25 日から栄区庄戸地区の横環南線道路予定地でのボーリング調査を強行しています。これは平成 20 年に同地区で行った 7 か所のボーリング調査に加えて 3 か所の調査を実施するというものですが、前回の調査でボーリングは終わったとしていたのになぜ追加が必要なのかについて住民に一切説明しないし、また話し合いにも応じないまま強行しているものです。

このように住民との話し合いを拒否するやり方は許すことができないとして、作業初日の 8 月 25 日には 100 名を超す住民が現地に集まって強く抗議したため斎藤工事長は工事を始めることができず、10 時過ぎから庄戸会館で住民代表らと話し合いを行いました。ところが話し合いを一旦中断して住民らが昼食のため帰宅した隙を狙って作業員が予定地西側のフェンスを大幅に破ってトラックを作業場に侵入させたのであります。しかもこの際、これを止めようとした住民を大勢で取り囲んでフェンスに押し付けた上、仰向けに押し倒して押さえつけるという暴行を加えました。屈強な大勢の人間の高齢の住民に対するこの手荒な仕打ちは言語道断であり、決して許すことはできませんが、ここではフェンス損壊の問題について伺うこととします。

道路予定地を囲ったフェンスは横浜市の所有物、つまり横浜市民の財産ですが、8 月 25 日 NEXCO は市の許可を得ないままこれを大幅に破ってトラックを作業場に侵入させました。許可を得ないまま他人の財産を損壊するのは犯罪行為以外の何ものでもなく、このようなことが当地で起きていることを市長として貴職がどのように考え対処されるのかを伺いたく本文書を差し上げる次第です。もちろん私達は NEXCO に強く抗議するとともに、会社としてコンプライアンス委員会で取り上げて審議するように要請しました。しかし、NEXCO はこれらを完全に無視して 9 月 5 日に再び予定地東側のフェンスを破ったため、9 月 10 日付で再度同委員会に審議を要請しましたが、これに対してまだ委員会から何の回答もありません。

以上の NEXCO への抗議と会社への要請はすべて庄戸三丁目町会としてなされたものであり、これを無視することは町会を無視するものとして極めて重大なことと考えています。町会は住民の自治組織として市政と協力しながら地域の親睦と発

展に寄与しており、これを無視することは市民を無視することに外ならず、このような企業が南線のような大型公共事業を担当していることに私たちは大きな不信と危惧を覚えていることを申し述べたいと思います。

終わりに是非指摘しなければならないのは、現地は小中学校の通学路になっていて、フェンスが破られた無残な様子が毎日子供たちの目に曝されていることであり、これが教育上好ましくないことは言うまでもなく、市の教育行政の責任者としての貴職に是非このことをお報せしておきたいと思います。

以上、当地でのボーリング調査に当たり、NEXCO が横浜市所有のフェンスを損壊した件についてお報せし、以下の点について貴職のご意見をお聞かせ下さるようお願い致します。

1. 当地の横環南線道路予定地でのボーリング調査に際して NEXCO が市所有のフェンスを大幅に破ったことについて、横浜市は事前にそのことを報されていたかどうか、もし報されていた場合それを止めなかったのはなぜか、その理由をお聞かせください。
2. 市の所有する、すなわち市民の財産はその大小を問わずきちんと管理保存するのは行政の大事な役目と考えます。従って NEXCO が 2 度にわたって市所有のフェンスを損壊したことに対して横浜市として NEXCO に対して厳重に抗議するとともに賠償請求すべきものと私達は考えますが横浜市としてどのように対処されたのかお報せ下さい。もし何の処置もしていない場合、なぜそうなのか理由をお聞かせ下さい。

以上

C.C. 国土交通省

東日本高速道路株式会社